

第1章 調査の目的と概要

1 調査の目的

調布市は、調布市基本構想（平成25年度～令和4年度）及び調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）に基づき、総合的かつ計画的なまちづくりを進めています。

調布市基本計画では、計画期間中の各施策の成果を図る目安として「まちづくり指標」を設定しています。

調布市民意識調査は、「まちづくり指標」の現状値や、市民が日常感じているくらしの満足度、市の施策に関する市民ニーズ等を把握し、今後の市政・まちづくりに活用することを目的としています。

また、調布市は平成27年10月に「調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「調布市総合戦略」という。）を策定しました。調布市総合戦略は、やがて訪れる人口減少、本格的な超高齢社会に対して、将来にわたって活力ある豊かな地域社会を維持し、だれもがより安心して快適に暮らせるまちづくりを総合的に推進していくための施策展開を戦略として定めたものです。

調布市総合戦略においても、施策の効果を検証するため、成果指標を設けており、本調査により数値を把握することとしています。

2 本報告書の特徴

「まちづくり指標」の現状値を把握

基本計画（令和元年度～令和4年度）の分野別計画では、全31施策、87項目のまちづくり指標を設定しています。そのうち、本調査により把握する指標は19施策29指標となっています。

これらの指標について令和元年度における現状値を把握するとともに、経年変化の比較を、表やグラフを用いて、分かりやすく記載しています。

満足度と優先度の両面から分析

効果的・効率的に行財政運営を進めるため、市民が普段のくらしの中で感じている、市政全般に対する満足度と合わせて、今後、優先的に解決、改善、向上に向け取り組むべきと思う施策の優先度を把握することにより、今後、重点的に力を入れて改善すべき分野を分析しています。

調布市総合戦略に位置付けた「基本目標における数値目標」及び「重要業績評価指標(KPI※)」の現状値を把握

調布市総合戦略では、施策の効果を客観的に検証するため、基本目標ごとに数値目標を、また、施策ごとに重要業績評価指標(KPI)を設定しています。

本調査により把握する指標は、数値目標全12指標のうち7指標、KPI全50指標のうち19指標となっており、そのうち数値目標3指標、KPI12指標が、基本計画で設定しているまちづくり指標と連動しています。本調査を通して調布市総合戦略の施策の効果を客観的に検証できるようになっています。

※ 重要業績評価指標(KPI)…Key Performance Indicatorの略。各施策の効果を客観的に検証するため、施策ごとに設定する成果指標をいう。

【図表 調布市基本構想・基本計画・総合戦略の計画期間】

年度 (西暦)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31/R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	
基本構想	調布市基本構想										
基本計画	前期基本計画										
			修正基本計画			後期基本計画					
総合戦略	調布市総合戦略										
市長任期											

3 調査の内容（設問の構成）

調査の設問は、「あなた自身のこと」、「まちの魅力と今後の定住意向」、「市政全般（くらし）」、「日ごろの意識や行動」、「ラグビーワールドカップ2019™日本大会、東京2020大会」、「公共施設マネジメント」の6区分で構成されており、具体的な設問内容は以下のとおりです。

【図表 設問の構成】

設 問		基本計画 まちづくり指標 (R1~4)	報告書 掲載頁
問	内 容		
あなた自身のこと			
1	性別を選んでください。		13
2	年齢を選んでください。		13
3	お宅には、あなた以外にどのような方がお住まいですか。		14
4	職業は何ですか。		14
4-1	通勤・通学先はどちらですか。		15
5	主に使用している情報通信機器は何ですか。		15
5-1	普段閲覧・活用しているSNSはどれですか。		18
6	現在お住まいの住居形態は何ですか。		18
7	お住まいの地域はどこですか。		19
8	調布市にお住まいになって通算何年になりますか。		20
9	調布市に住む前にどこにお住まいでしたか。		20
9-1	調布市にお住まいになったきっかけ、理由は何ですか。		21
9-2	家族構成や家族の状況が変わった理由は何ですか。		22
まちの魅力と今後の定住意向			
10	まちに親しみや魅力や愛着を感じていますか。		39
11	今後も調布市に住み続けたいと思いますか。		41
11-1	調布のまちの魅力や個性・特色は何だと思いますか。		44
11-2	転出したいと思う理由を選んでください。		47
市政全般（くらし）			
12	次のそれぞれの取組に関して、普段のくらしの中で感じている「①満足度」と、今後における市の取組としての「②優先度」をうかがいます。		50
基本目標1	地震、風水害などへの災害対策		54
	火災などへの消防対策		
	防犯対策		
基本目標2	子育て支援サービス	○	56
	ひとり親家庭への生活面・経済面の支援		
	小・中学校の教育		
	青少年の非行防止及び健全育成対策		
	就労などの面で困難をかかえる若者への支援		
基本目標3	高齢者の福祉		58
	障害者の福祉		
	労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組		
	健康診断など保健サービス		
	病院・診療所などの医療機関		

設 問		基本計画 まちづくり指標 (R1~4)	報告書 掲載頁	
問	内 容			
	基本目標4	たづくりを中心とした生涯学習		61
		公民館	○	
		図書館		
		スポーツ振興		
	基本目標5	地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動の支援		63
	基本目標6	日常の買い物の便利さ	○	65
		市内工業・商業などの活力		
		市内中小企業に対する支援対策		
		深大寺地域などの観光振興		
		調布市花火大会（映画のまち調布花火）		
		「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組	○	
		グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした芸術・文化活動		
	歴史・文化財の保存や継承			
	基本目標7	街並み・景観		69
		中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい		
		居住環境（バリアフリー・耐震化など）		
		道路整備		
	基本目標8	緑の保全や自然環境		71
		公園や遊び場		
ごみ処理				
生活環境（騒音・悪臭・野焼きなど）対策		○		
まちづくりの基本理念 を実現するために	平和・国際交流の取組		73	
	人権に関する啓発・相談			
	女性の社会参加・参画			
行革プラン2019	市民参加と協働の取組		75	
	市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信			
	ホームページの見やすさ			
	民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組			
	窓口・電話における職員の対応			
	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組			
	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組			
	行政評価の取組			
	支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など			
13	問12の取組項目の中で、今後、もっと市が力を入れるべきと思う取組を選んでください。		80	
「日ごろの意識や行動」				
14	あなたは、日ごろからどのような防災対策に取り組んでいますか。	○	83	
15	あなたは、令和元年台風第19号の際に、台風関連情報をどのように入手しましたか。		90	

第1章 調査の目的と概要

設 問		基本計画 まちづくり指標 (R1~4)	報告書 掲載頁
問	内 容		
15-1	令和元年台風第19号の際に、最も役に立った情報源はどれですか。		93
16	令和元年台風第19号による市内の被災状況等を知っていますか。		96
17	今後、令和元年台風第19号のような災害の発生が予想されたとき、どのように行動することを考えていますか。		97
18	洪水ハザードマップなど、防災・減災のための地図や冊子などを活用していますか。		99
19	自分の住んでいる地域が治安の面で安心して暮らせると感じていますか。	○	106
20	この1年間に日常生活の中で、身に覚えのない請求や、しつこい勧誘など、消費生活に関するトラブルに巻き込まれそうになった経験がありますか。		108
20-1	トラブルに巻き込まれそうになった際、どちらかへ相談しましたか。		109
21	児童虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）に関する次の相談窓口を知っていますか。	○	110
22	地域福祉や高齢者福祉に関する次の相談窓口を知っていますか。	○	115
23	地域における交流の場（ひだまりサロンなど）についてどのように感じますか。		121
24	「障害者差別解消法」を知っていますか。		122
25	「ヘルプカード」を知っていますか。		123
26	心身ともに健康だと感じていますか。	○	124
27	健康ではりのある生活のため、趣味活動や地域活動などに参加していますか。		126
28	定期的にがん検診を受けていますか。	○	128
29	普段、たばこ（紙巻きたばこ・加熱式たばこ、葉巻）を吸いますか。		130
30	市内のどの場所でたばこの煙が気になりますか。		131
31	調布市受動喫煙防止条例（平成31年3月公布、令和元年7月施行）を知っていますか。		132
32	調布市内の各駅の駅前広場やその周辺の路上が、「路上等喫煙禁止区域」に指定され、終日喫煙禁止であることを知っていますか。		133
33	受動喫煙防止対策として、今後、市が優先して取り組むべきことは何だと思えますか。		134
34	おおむね1年の間に、生涯学習に取り組んだことがありますか。	○	136
35	生涯学習を通じて身につけた知識・技能を、まちづくりや仲間づくりなど自分以外のために生かしていますか。	○	137
36	健康・体力づくりのために体を動かしていますか。	○	139
37	おおむね1年の間に、次の公共スポーツ施設をどのくらい利用しましたか。		141
37-1	市の公共スポーツ施設を、ほとんど利用していない、又は全く利用していない理由は何ですか。		148
38	地域の一員としての意識や地域の連帯感を感じていますか。	○	149
39	「地区協議会」を知っていますか。		151
40	おおむね1年の間に、地域の活動やイベントに参加しましたか。	○	153
40-1	参加した団体、活動、場所は何ですか。		155
41	調布市市民活動支援センター（市民プラザあくろす2階（国領駅北側コクティ内））を利用したことがありますか。		161
41-1	調布市市民活動支援センターを利用しない理由は何ですか。		163
42	買物や飲食などで、地元の商店街（スーパーマーケットやコンビニ、チェーン店以外の個人商店など）をどのくらい利用していますか。		164
42-1	地元の商店街（スーパーマーケットやコンビニ、チェーン店以外の個人商店など）をほとんど利用していない・利用していない理由は何ですか。		169
43	市内農家の農産物直売所（市内スーパーの直売コーナー、農協直売コーナーを含む）を利用していますか。	○	171
44	市内に農地が必要だと思えますか。		172
44-1	市内に農地が必要だと思う理由は何ですか。		174

45	おおむねこの1年の間に、市内・市外を問わず、芸術文化（音楽、演劇、美術、舞踊等伝統芸能、映画など）の鑑賞や、自ら芸術文化活動を行いましたか。		175
45-1	芸術文化を鑑賞した、または芸術文化活動を行った場所はどこですか。	○	176
46	調布市を住みよいまちだと思いませんか。	○	178
47	調布市内に優れた景観の場所があると思いませんか。	○	180
47-1	優れた景観だと思う場所はどこですか。		181
48	深大寺周辺の景観が優れていると思いませんか。	○	182
49	中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的な街であると思いませんか。	○	184
50	中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の魅力を高めるために必要なものは何だと思いませんか。		186
51	普段どの駅を利用しますか。		187
51-1	その駅の周辺は利便性が高いと思いませんか。	○	188
52	普段利用する市内の道路が安全であると思いませんか。		190
53	市内の道路について、道路の利用者が目的地まで行きやすく、利便性の高い道路ネットワークが形成されていると思いませんか。	○	193
54	ふだん利用する道路について、通行しやすいと感じていますか。	○	195
55	市内の公共交通機関（電車・路線バス・ミニバス）について利用しやすいと思いませんか。	○	203
56	シェアサイクルを利用したことがありますか。		205
57	住んでいる住居はバリアフリー（段差解消やスロープの設置など）対応になっていますか。	○	208
58	自身や家族・親戚が所有する市内の物件が、適切な管理が行われていない空き家とならないための対策が必要であると思いませんか。	○	210
58-1	空き家対策として、今後、市が優先して取り組むべきことは何だと思いませんか。		211
59	これまでに戦争中の話をしたり聞いたりしたことがありますか。	○	212
59-1	戦争中の話をしたり聞いたりしたのはいつ頃ですか。		213
59-2	誰と（誰から）戦争中の話をしたり聞いたりしましたか。		214
60	家事・子育て・介護などの家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思いませんか。		216
61	市政・まちづくりに関する情報の入手方法をうかがいます。		218
62	市議会が行っている広報・広聴活動のうち、あなたが知っているものは何ですか。		225
63	国連で採択された持続可能な開発目標SDGsを知っていますか。		226
ラグビーワールドカップ2019™日本大会、東京2020大会			
64	ラグビーワールドカップ期間中、市内にどのような効果や課題があったと思いませんか。		227
65	市内で東京2020大会の次の競技種目等が実施されることを知っていますか。		229
66	調布市における東京2020大会に関連した取組（スポーツ・健康イベント、競技会場やパブリックビューイング会場での観戦など）に参加したい、または関心がありますか。		234
67	東京2020大会を通じて、調布市のまちづくりにどのような効果があることを期待しますか。		236
68	おおむねこの1年間に次の場所やイベントに行ったことがありますか。		238
公共施設マネジメント			
69(A)	この1年間で利用したことのある施設は何ですか。		244
69(B)	重要だと思う施設は何ですか。		248
70	公共施設マネジメントの基本方針を踏まえて、取り組んだ方が良いと考えるものは何ですか。		249
71	おおむね1年の間に、グリーンホールを利用したことがありますか。		250
71-1	グリーンホールはどのような目的で利用しましたか。		251
72	グリーンホールにおけるホール機能として、最も重要だと思うものは何ですか。		253
73	グリーンホールの施設整備で優先的に力を入れて取り組むべきと考えるものは何ですか。		254

4 調査方法及び調査期間

調査対象者

市内在住の満16歳以上の市民を対象とし、住民基本台帳から、性別・年齢・地域別の人口構成に合わせて、約3,000人を無作為に抽出しました。

配布と回収

郵送による調査票の配布し、回答された調査票を回収しました。

調査期間

令和2年1月14日（火）～令和2年1月31日（金）

5 回収の結果

調査票の回収率は44.7%であり、各属性の回収結果は以下のとおりです。

【図表 属性ごとの回収結果】

属性		対象者数 ^{※1}		配布数 ^{※2}		回収数		回収率
		実数	構成比	実数(票)	構成比	実数(票)	構成比	(%)
		(人)	(%)	(a)	(%)	(b)	(%)	(b/a)
総数(16歳以上)		200,779	100.0	3,055	100.0	1,367	100.0	44.7
性別	男性	97,186	48.4	1,489	48.7	561	41.0	37.7
	女性	103,593	51.6	1,566	51.3	771	56.4	49.2
	(無効回答)	—	—	—	—	35	2.6	—
年齢	16～19歳	7,944	4.0	121	4.0	22	1.6	18.2
	20～29歳	27,710	13.8	420	13.7	92	6.7	21.9
	30～39歳	31,675	15.8	481	15.7	174	12.7	36.2
	40～49歳	38,905	19.4	591	19.3	245	17.9	41.5
	50～59歳	32,880	16.4	501	16.4	241	17.6	48.1
	60～69歳	22,877	11.4	348	11.4	195	14.3	56.0
	70歳以上	38,788	19.3	593	19.4	380	27.8	64.1
	(無効回答)	—	—	—	—	18	1.3	—
年齢 内訳	60～64歳	11,270	5.6	—	—	95	6.9	—
	65～69歳	11,607	5.8	—	—	100	7.3	—
	70～74歳	11,894	5.9	—	—	198	14.5	—
	75歳以上	26,894	13.4	—	—	182	13.3	—
地域	西部地域	35,623	17.7	543	17.8	233	17.0	42.9
	北部地域	43,014	21.4	652	21.3	297	21.7	45.6
	南部地域	71,342	35.5	1,087	35.6	461	33.7	42.4
	東部地域	50,800	25.3	773	25.3	342	25.0	44.2
	(無効回答)	—	—	—	—	34	2.5	—
地域 内訳	南部地域 (中心市街地)	32,104	16.0	—	—	200	14.6	—
	南部地域 (中心市街地以外)	39,238	19.5	—	—	261	19.1	—

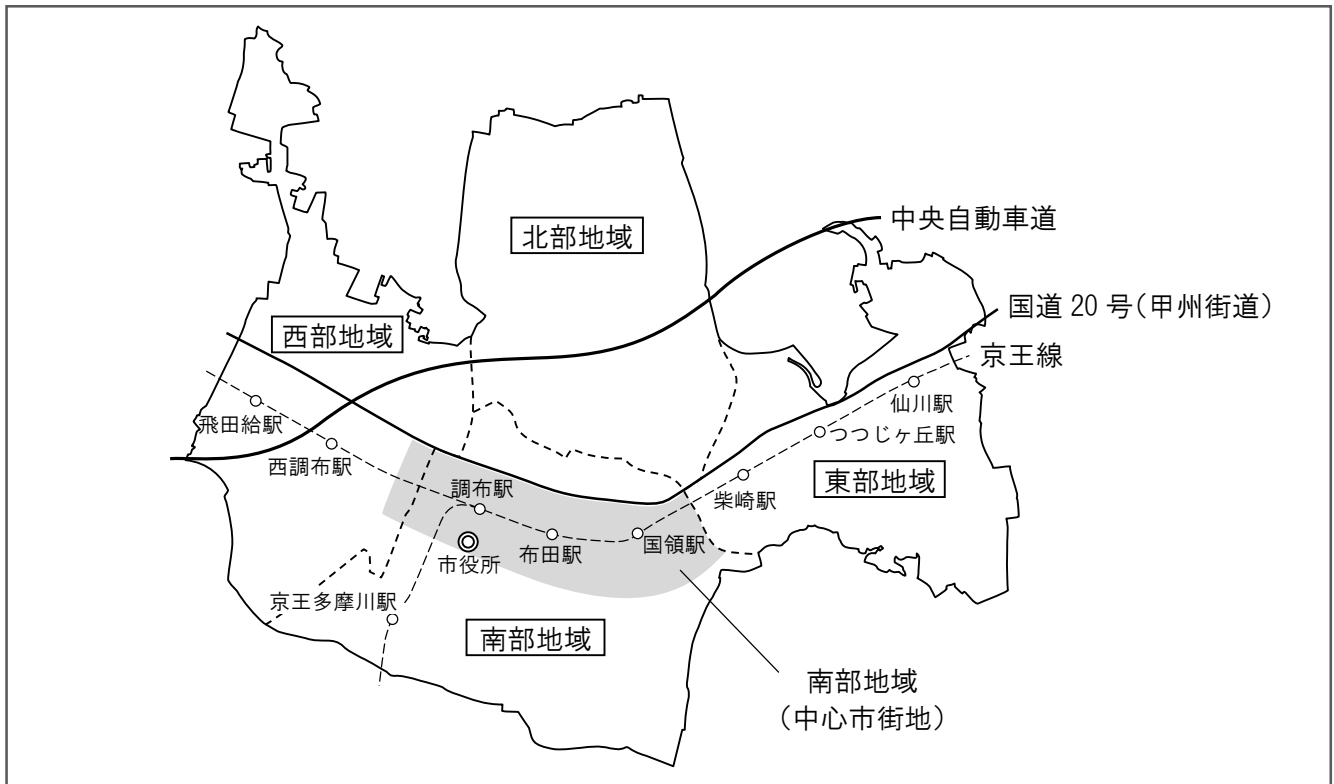
※1 令和元年10月1日現在の16歳以上の住民基本台帳登録者数（日本人のみ）

※2 宛名不明等の理由により返送された分を含む

6 地域区分

本調査における地域区分は、以下のとおりです。

【図表 各地域の位置と対象となる町丁目】



1 西部地域	2 北部地域	3 南部地域 (中心市街地)	4 南部地域 (中心市街地以外)	5 東部地域
飛田給 1～3 丁目 上石原 1～3 丁目 富士見町 1～4 丁目 下石原 1～3 丁目 多摩川 1～2 丁目 野水 1～2 丁目 西町	佐須町 1～5 丁目 柴崎 1～2 丁目 調布ヶ丘 3～4 丁目 深大寺元町 1～5 丁目 深大寺北町 1～7 丁目 深大寺東町 1～8 丁目 深大寺南町 1～5 丁目	小島町 1～2 丁目 布田 1～4 丁目 国領町 1～5・8 丁目	小島町 3 丁目 布田 5～6 丁目 国領町 6～7 丁目 染地 1～3 丁目 多摩川 3～7 丁目 調布ヶ丘 1～2 丁目 八雲台 1～2 丁目	菊野台 1～3 丁目 東つつじヶ丘 1～3 丁目 西つつじヶ丘 1～4 丁目 入間町 1～3 丁目 仙川町 1～3 丁目 緑ヶ丘 1～2 丁目 若葉町 1～3 丁目

<参考> 回答率の推移

調査年度	回答率	調査対象者	備考
平成 24 年度	42.2%	満 18 歳以上	
平成 25 年度	50.8%	満 16 歳以上	※平成 25 年度以降, 調査対象者は満 16 歳以上
平成 26 年度	49.1%	満 16 歳以上	
平成 27 年度	48.2%	満 16 歳以上	
平成 28 年度	48.7%	満 16 歳以上	
平成 29 年度	45.0%	満 16 歳以上	
平成 30 年度	45.1%	満 16 歳以上	

7 報告書を見る際の注意事項

(1) 集計方法

○本調査では、回答全体（n=1,367）をまとめて集計した「単純集計」のほか、過去の調査結果との「経年比較」や、性別や年齢層などの属性ごとに区分して集計した「クロス集計」を行っています。なお、属性によっては、回答数が少ないため、本調査の結果が調布市における当該属性の傾向と異なる可能性があることをご理解のうえ、調査結果をご覧ください。

(2) 数値の端数処理方法

- 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、百分率の合計が100%にならない場合や、内訳の合計が、表示されている値と一致しない場合があります。
- 上記比率の分母となる回答総数は、「n」として掲載しています。

(3) その他

- 本文及び図表において、設問選択肢の表記の長いものについては、煩雑さを避けるために、一部で表記を簡略化しています。
- 一般的に、意識調査を実施する際に1,100件程度を対象とすれば母集団全体（本調査では市の人口に相当）の意見との誤差は±3%以内に収まるとされています。本調査の対象者数約3,000人（回収数約1,400件）は調査結果を見るうえで、統計上有効な数値であると考えられます。

(参考) 意識調査の必要サンプル数の計算方法

一般的な統計理論では、「〇〇について賛成か、反対か」という設問の場合、必要サンプル数は以下の式で求められます。

必要なサンプル数 = 信頼水準の2乗 × 回答比率 × (1 - 回答比率) ÷ 目標誤差 (%) の2乗

(本調査の必要サンプル数: $(1.96)^2 \times 0.5 \times (1-0.5) \div (0.03)^2 \approx 1,067$ (票))

信頼水準: 正しく判断できる確率のこと。一般的に国などが行っている標本調査では、95%に対応する「1.96」という値が用いられる。

回答比率: 賛成または反対の回答比率として設定するもの。通常は、調査対象者数が最大となる「0.5」を用いる。

目標誤差: 標本調査（サンプリング調査）と全数調査の結果の間に生じる誤差（標本誤差）の目標値。本調査では±3.0%以内とするので、「0.03」とする。

資料: 総務省統計局『なるほど統計学園高等部』ホームページ